

ブランド、来場者絞り「質」追求

「LAクラリス・トレード・ショー」



「モグロ」のデザイナー兼オーナーのルーク・マッケーンさんと人気商品

米ロサンゼルス（L.A.）で開いた第1回クラリス・トレード・ショーは、08年秋冬のファッション向けハイエンドカジュアル向けハイエンドカジュアルを特集



「リンダ・ラウダーミルク」の土を染料にしたシルクのトップと注目のアップサイドダウン・ドレス



「WESCO」のハルゲンWEOとメンズの人気商品



「アイドル・ラディック」のデザイナー兼共同オーナー。左から、デービッド・ヒックマン、ニック・トーマス、スコット・パンクレイの各氏

ムを拡大し、1000以上の限定シーズンズやジャケットも登場。「プレミアムデニムは飽和状態にあるが、新鮮なアイデアがあれば売れる」とセールの担当のデービッド・ベッキオさん。日本の

デニムを使い品質を重視している。

「無駄にしない思想と日本語の、もったいない。を日本人の友人から学んだ」と言うデザイナーのルーク・マッケーンさんがニューヨークで08年秋から展開する「モグロ」は、オーガニック素材を日本やイタリアなどから取り寄せ、シャツを作った余り生地をジャケットの裏地に利用するなど環境問題を意識した取り組みをしている。シーズンをはじめ、シャツ、ニットウェア、

ジャケットなどトータルで揃える。シャツのハイキング、二通りの胸ポケット、コロソータットのボタなど凝った細部のデザインが魅力。

L.A.のクチュールデザイナー、リンダ・ラウダーミルクさんの「リンダ・ラウダーミルク」は、さざ和紙、ミルクカシミヤ、ヘンプシルク、マッドシルク、マッドサテンなど自然素材やリサイクル素材をドレスやスカート、タキシードなどグッチュール商品に使い、世界的に注目を浴びている。特にアップサイドダウン・ドレス（上下逆さまのドレス）が多くのバイヤーに人気だ。

ゴルフウェアを展開していた「アイドル・ラディック」は08年秋からコンテンポラリー・メンズブランドとして再デビューする。「日本やイタリアのカシミヤやウールを

使用し、質にこだわったクリーンなハイエンドカジュアル。スケートボーダーからビジネスマンまで幅広く、流行に關係なく長く着られる商品をめざす」とデザイナー兼共同オーナーのニック・トーマスさん。三つのポケットがユニークなピーコートや襟がポイントのジャケットに受注が多い。米国に2店持つスウェーデンの「WESCO」の今秋冬は、チェックのシャツと鮮やかなグリーン、グレーのカーディガン、オレンジとグレーのスエット、コットンキャパスのジャケットが人気。グレガー・ハレゲンCEO（最高経営責任者）は「スウェーデンからサンタモニカへ移住して1年」だが、今秋冬もトレードマークのプライトカラーを強調するという。（ライター・藤本庸子）